



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

CONTENTS

H.C.R. 2008 国際シンポジウム — 1

H. C. R. 2007 報告
事例からみる福祉機器の事業支援
— 販路開拓、異なる分野の企業との
連携、資金調達、専門家派遣 — 2

国際情勢報告
オランダの長期的症状の人々のための
ケア提供計画 ② — 6

はじめての福祉機器Q&A
第2回 手動車いす② — 8

編集・発行：財団法人 保健福祉広報協会
Publisher: Health and Welfare Information Association
住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798
定価1部200円 (消費税・送料込)

H.C.R. 2008 国際シンポジウム

H.C.R.では、福祉機器展の開催に併せ、欧州やわが国に共通する社会保障分野の課題について、諸外国の専門家を招き、当該国の取組み事例や課題を紹介するH.C.R. 国際シンポジウムを開催しています。

2008年は、先進諸国に共通する少子高齢化について、欧州から専門家を招きわが国の専門家とともに理解を深めます。



講師
Mr. Francois HERAN

フランスの少子化政策の 実情と課題

少子高齢化は先進各国の共通課題です。少子化は、家庭や地域社会、教育現場にとどまらず、国の経済成長、労働人口、財政など社会全体に影響を与えることとなります。社会保障政策においても子ども家庭福祉制度とともに、福祉・介護、医療、低所得者対策といった社会保障全体と連携させながら考えていく必要があります。

少子高齢化が進むわが国や欧州など先進国では次世代育成の諸施策の拡充に力を注いでいます。特にフランスでは、児童関係手当、税制、労働環境、法整備に厚い配慮がなされ、今日では欧州一の出生率に至りました。

本シンポジウムでは、2006年の合計特殊出生率が2.005*と先進各国の中では高いフランスから人口問題の専門家を招き、少子化政策の現状、出生率・人口動向などの背景、影響を報告いただくと

ともに、今後の方向性、財政や社会保障制度における課題などを日本の専門家と意見交換をしながら考えます。

*日本の2006年の合計特殊出生率は1.32

- 講師：Mr. Francois HERAN
フランス人口統計学研究所所長
- チューター：高橋重郷氏
国立社会保障・人口問題研究所副所長

日時 9月25日(木) 10:00～12:30

会場 東京ビッグサイトレセプションホールB

定員 300名(要申込)
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

参加費 1,000円

参加申込

本会Webサイト <http://www.hcr.or.jp> からお申込みください。なお、FAX 03-3597-1097 からもお申込みできます。

■ FAXでのお申込みは、

- ①お名前(フリガナ)、②参加券送付先住所、
 - ③TEL・FAX・E-mail、④参加希望講座、
 - ⑤職種 (a. 福祉・老健施設、b. 病院・リハセンター、c. 行政、d. 福祉団体、e. 在宅サービス、f. 製造業、g. 販売業、h. 研究機関、i. 建築・設計、j. その他「 」)
- を明記し、ご送信ください。

■ お申込みに関する問い合わせは、

E-mail: hcr2008@intergroup.co.jp もしくは、
FAX 03-3597-1097 および TEL 03-3597-1097
にご連絡ください。

H.C.R. 2008 ビジュアルデザイン



波多野 光 イラストレーター

京都市生まれ。東京都在住。デザイン事務所勤務ののち、イラストへ転向。

野菜や植物の絵を多く描き、雑誌の挿絵や書籍の装画などエディトリアルの仕事が中心。



今回、展示会主催者や制作スタッフの方と相談して、優しい日本の秋の花「桔梗」というテーマで描かせていただきました。

介護をされるお身内の負担が少ない、優しい福祉であることを望みます。

機器を必要とされ、展示会に足を運ばれる方それぞれの状況の中でふと一息、深呼吸ができるようなビジュアルになっていれば本望です。

